

<経済2016年第1四半期>

1月

*1月6日、世界銀行が2016年の世界全体の経済成長率のミット氏を2.9%と発表(昨年6月の前回予想では3.3%)。中国は7.0%から6.7%に、日本は1.7%から1.3%に下方修正。

*1月13日、中国の税関総署が2015年の輸出入総額が前年比8.0%減の3.96兆ドルであった。減少は過去30年間ではアジア通貨危機に見舞われた98年と2009年に続いて3度目だ。

*1月14日、内閣府が2015年11月の機会受注統計を発表、民需の受注額は7738億円で前月を14.4%下回った。

*1月16日、アジアインフラ投資銀行が成否期に開業。北京の釣魚台迎賓館で開業式典が行われた。参加国は57ヶ国。中南米はブラジルのみ。

*1月18日、中国の人民銀行が国外の金融機関が中国国内に持つ預金口座に関し、国内企業や個人の預金口座と同様に預金の一部を人民銀行が預かる「預金準備率」を適用すると発表した。中国国外への人民元の過度な流出を防ぎ、元安を食い止める狙いがあると見られる。

*1月18日、イラン石油省が原油を日量50万バレル増産することを決めた。イランの原油輸出量は2011年で日量250万バレルあったが、その後の制裁強化で半分以下に落ち込んでいた。

*1月19日、IMFが最新の世界経済見通しを発表。2016年の世界経済の成長率見通しを3.4%とし、前回昨年10月時点の予想(3.6%)から引き下げた。中国は6.3%、日本は1.0%、米国は0.1%減の2.6%、ユーロ圏は0.1%減の1.7%、新興・途上国は0.2%減の4.3%。

*1月19日、中国の国家統計局が2015年のGDP成長率は実質で6.9%であったと発表。前年より0.4%減速。

*1月19日(日本)、観光庁が2015年に日本を訪れた外国人観光客数が1973万7000人に達したと発表(2014年は1341万人)。旅行者が日本で使ったお金は3兆4771億円(71%増)で過去最高となる。

*1月29日(日本)、日本銀行が金融政策決定会合で、金融機関が日銀に任意で預けるお金の利子をマイナスにする「マイナス金利政策」の導入を決定。

*1月29日(日本)、厚生労働省が2015年平均の有効求人倍率を発表、前年を0.11%上回る1.20倍と、1991年以来24年ぶりの高水準となった。

*1月29日(日本)、総務省が昨年12月の主な経済指標を発表、家計の消費支出はマイナス4.4%と前年同月を4ヶ月連続で下回った。2人以上の世帯が使ったお金は31万8254円であった。

2月

* 2月3日、中国の国家発展改革委員会（発改委）トップの徐紹史主任が2016年のGDPについて「6.6～7%を(目標とする)経済成長の区間を定めた」と発言。

* 2月8日（日本）、厚生労働省が2015年の毎月勤労統計（速報）を発表、物価の伸びを超えて賃金が上がっているかどうかを見る実質賃金指数が全円を0.9%下回り、4年連続でマイナスとなった。名目賃金にあたる労働者一人平均の月間給与総額は31万3856円、2年連続で増えたものの、伸び率は0.1%にとどまった。

* 2月15日（日本）、内閣府が2015年10～12月のGDP1次速報を発表、実質成長率は対前比で0.4%減だった。年率換算では1.4%減。

* 2月16日（日本）、総務省が家計調査の結果として、2人以上の世帯が2015年に使ったお金は月平均28万7373円で、前年より2.3%減ったと発表した。減少は2年連続。

3月

* 3月3日、ブラジル地理統計院が2015年のGDPが前年比で実績3.8%減少したと発表。成長率のマイナスはリーマン・ショックあとの2009年以来、6年ぶり。

* 3月8日、中国の税関総署が2月の貿易統計を発表、輸出は前年同期比25.4%減の1261億ドルだった。前年割れは8ヶ月連続、下落幅は2009年5月以来の大きさ。

* 3月8日（日本）、内閣府が2015年10～12月のGDPの2次速報を発表、実質成長率が前期比で0.3%減となり、年率換算ではマイナス1.1%となった。

* 3月23日（日本）、内閣府が3月の月例経済報告を発表、国内の景気判断を5ヶ月ぶりに下方修正して、「このところ弱さも見られるが、緩やかな回復基調」とし、「このところ一部に弱さもみられる」としていた部分の「一部」を外した。

* 3月29日（日本）、総務省が2月の完全失業率（季節調整値）は3.3%であったと発表、3ヶ月ぶりに悪化。厚生労働省が発表した2月の有効求人倍率は前月比横ばいの1.28倍となった。

* 3月29日、イエレンFRB議長が講演で今年の世界経済の成長が「以前の想定より弱くなるとみられる」としたうえで、追加利上げについては「慎重に進めるのが適当」との考えを示した。

* 3月30日（日本）経済産業省が2月の鉱工業生産指数速報値（2010年=100）が93.6に落ち込んだと発表。景気の谷間であったとされる2012年11月（93.4）以来の低水準となった。